

国連食糧農業機関（FAO）南部アフリカ地域コーディネーターとの意見交換 （令和6年3月12日）

2024/03/12

3月12日、西牧大使は、ナミビア出張中のタクウカン（Dr. Patrice Talla Takoukam）FAO南部アフリカ地域コーディネーターと意見交換を行いました。西牧大使からは、FAOが日本の令和4年度の補正予算を使って現在ナミビアで実施中の「食と栄養の安全保障上の危機から立ち直るための緊急支援」について所感を述べるとともに、FAOの取り組みを高く評価している旨伝えました。タクウカン・コーディネーターからは、日本がFAOにとって重要なパートナーであり、日本政府から拠出された資金を効果的に活用し、期待された成果を体現することを大切にしている旨が伝えられました。



（左より）タクウカン FAO 南部アフリカ地域コーディネーター、西牧大使



（左より）雌 FAO ナミビア代表、タクウカン FAO 南部アフリカ地域コーディネーター、
西牧大使、カンピンゲン FAO 職員、山田書記官